

寺台保目神社祭礼 新世紀の祭りは 新しい屋台で

根木名川にみこしを乗り入れる「お浜降り」で有名な、寺台保目神社の祭礼で20年ぶりに新造された屋台が引き回されました。新しい屋台の自慢は力士像や龍などの精緻な彫刻。しかも、夜でもよく見えるようにと照明まで装備。区民も「これで寺台の祇園にも一つ名物ができた」と満足げに話していました。(7月27日、寺台で)



成田市民号が南紀地方へ 市民の交流の輪を広げて30年

夏の恒例行事となった「成田市民号」が、ことしも7月13日～15日、『南紀・那智の火祭りと高野山の旅』と題して開催されました。この旅行は、市民が全国各地の観光先進地を訪れ、国際観光都市「成田」の発展に役立てようと、昭和47年にスタートしたもので、ことしが30回目。この間、多くの市民が交流の輪を広げてきました。



高野山金剛峰寺の山門を見上げる市民号一行

第37回千葉県消防操法大会 並木町チームが大健闘

市の消防操法大会に続き、郡大会でも優勝に輝いた並木町チームは、8月1日、千葉市で行われた県大会においても大健闘し、見事4位入賞を果たしました。県大会における本市の最高成績は5位で、同チームはこの記録を塗り替えたこととなります。



印旛支庁長らの激励を受ける並木町チーム

消費生活モニターが 一日輸入食品衛生監視員に

熱心に説明を聞く消費生活モニター



「空港の衛生週間(7月14日～20日)にちなみ7月17日、消費生活モニター5人が空港検疫所の一泊輸入食品衛生監視員として検査業務を実地体験しました。輸入食品の届け出処理の様子や食品倉庫でのアイスクリームの抜き取り調査・理化学検査などをつぶさに「監視」。参加者は「厳しい検査のおかげで、安全な輸入食品を手にすることができていることを実感した」と話していました。

交通事故防止運動

「シートベルト・リーダー」 成田の街に登場



8月1日、京成成田駅前



成田警察署長から委嘱状を受けた佐久間会長

駅前で交通事故防止とシートベルトの着用を呼びかけているのは、「シートベルト・リーダー」に委嘱されたタクシー運転手さんと、交通安全協会のみなさんです。これは、プロのドライバーに、着用推進の模範になってもらおうと成田警察署が成田市タクシー協議会（佐久間毅彦会長）に加盟する10事業者に委嘱したもので、シートベルト着用だけでなく、観光客に安全でクリーンな成田のイメージを伝える広報マンとしての役割も担っていくそうです。

「根木名川 みんなでおそうじ2001」

小学生や高校生らが 清掃に汗



記録的な暑さが続いた中の7月24日、東田の根木名川親水護岸周辺で、「根木名川 みんなでおそうじ2001」が行われました。当日は、県成田土木事務所や市職員などのほか、小学生や高校生も参加。マコモの中の空き缶やペットボトル、堤防に散らかったポリ袋など約180kgものごみを拾い集めました。



サツマイモに 薄紫の花が咲く

十余三でサツマイモの花が咲いているとの情報が寄せられました。直径3~4cm、ヒルガオによく似た薄紫色の花です。サツマイモの花が咲くことは大変めずらしく「猛暑と雨不足が続いたためではないか」と畑の所有者中島和代さんは話していました。

商工会館に情報発信ボード設置

空港2期工事完成までの 日数を表示

商店街からのお知らせや、観光情報などを提供するための情報発信ボードが、成田商工会議所（宮崎廣郎会長）により商工会館の側壁に設置されました。このボードは、縦が1.8m、横が9mで、当面は来年5月20日に予定されている成田空港暫定滑走路の供用開始までの残り日数を表示するカウントボードに。同会議所では「市民だけでなく電車の空港利用者にも見てもらえれば」とPRに努めています。



7月23日に行われた除幕式